

商品に安全と安心をプラスするパッケージ

詰め替え用のシャンプーや洗剤が袋に入って売られているのを見たことがありますか。身の回りの生活用品や食料品などが安心安全に運ばれるために必要不可欠なパッケージを作っている会社が岩倉市にあります。

中身に合わせたパッケージを提案

お客様の注文や相談を受け、包装する内容物に合わせてパッケージを提案します。キャップの有無、食品であれば長期保存を可能にするバリア性をどの程度持たせるのかなど形状から素材まで当社が扱う規格袋は約400種類に上ります。お客様の要望やお客様がパッケージに注入するために必要な設備を持っているかどうかに合わせて最適な提案をします。また、デザイン部門があるため、内容物のイメージを魅力的に伝えるパッケージデザインをご提案することも可能です。仕様が決まると必要な数を短期生産し、納品します。少量生産が可能のため、多くの中小企業や町の洋菓子店などからも注文をいただいています。企画・デザイン・製造・販売まで自社で一貫してできることが強みです。この体制が品質の徹底管理を可能にしています。

扱いやすく便利な夢パック®

1994年に夢パック®というオリジナル商品の製造販売を始めました。注ぎ口とキャップが付いていて、食品や化粧品などの詰め替えなどに幅広くご利用いただいています。この形状のパッケージは市場の先駆

けだったこともあり、10年ほど経ってから売れるようになってきました。

夢パック®は例えば凍ったアイスを揉んで溶かしながら食べることができ、練りごまのように油分が分離する食品であれば揉んで混ぜることができるなどユーザーの利便性を高めることが可能です。

瓶や缶、プラスチックボトルと比べて軽量が体積が小さいため、お客様にとっては運搬がしやすい、保管の場所を取らないといったメリットがあります。

現在力を入れているのが環境負荷を低減することです。例えば石油由来の材料の使用を抑えてバイオマス素材やリサイクル素材の割合を上げるなどの取り組みを進めています。

働きやすい環境で社員が定着

10代〜30代の若い社員が多く、生産現場などで女性が活躍しています。育休が取りやすく、女性はもちろん男性の中にも2か月の育休を取得する人がいます。今では女性の従業員は4割程度まで増え、結婚や育休などで辞めることはほとんどありません。

働くことについて柴田博幸社長は「楽しむ、そういう気持ちでやるといいかなと思いますけどね」と話してくれました。今回のインタビューに学生として参加させていただいた私たちにとって今はまだ完全に理解できませんが、働くことに対する新しい考え方を気づかせてくれました。働きやすい職場づくりや使いやすいパッケージを作るために積極的に新たなことに挑戦するその姿勢には、楽しむという考え方が隠されていると感じました。

かぶしがいいや カウパック株式会社

〒482-8652 岩倉市大地町上千 31
TEL: 0587-66-6314
<https://www.cowpack.com>



■会社概要

創業者の牛田さんが1952(昭和27年)に設立した(株)牛田商店はキャラメルを製造していました。その後、事業内容を変更して軟包装パッケージの専門メーカーとなり、1972(昭和47)年に商品名「カウパック」の名前を社名としてカウパック(株)に変更しました。東京支店、仙台・名古屋・大阪・熊本に営業所がありますが、工場は岩倉だけにあり毎月およそ1500万枚を製造しています。

